

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公表番号】特表 2019-512318 (P2019-512318A)

【公表日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2018-548876 (P2018-548876)

【国際特許分類】

A 4 7 J 37/12 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 37/12 3 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

底壁 (70) に接続されていると共に前記底壁 (70) から上方に延在している複数の側壁 (62, 62, 66, 68) を備えている調理チャンバ (12) であって、複数の前記側壁 (62, 62, 66, 68) 及び前記底壁 (70) が共に、調理媒体を受容するように構成されている内部空間 (30) を囲んでいる、前記調理チャンバ (12) と、

前記調理チャンバ (12) の前記底壁 (70) に結合されている洗浄要素 (44) であって、

充填ポート (423) に流通可能に結合されていると共に前記調理媒体を受容するように構成されている、通路 (422) を備えている下側部分 (414) と、

前記調理チャンバの前記底壁 (70) の上方に延在しており、且つ、前記通路 (422) に流通可能に結合された複数の噴霧噴射ノズル (424a ~ 424g) を備えている、上側部分 (416) であって、複数の前記噴霧噴射ノズル (424a ~ 424g) が、前記調理媒体から成る複数の加圧流を前記調理チャンバ (12) の所定領域に噴霧するように複数の前記噴霧噴射ノズル (424a ~ 424g) を配向するために、前記洗浄要素 (44) の前記上側部分 (416) の周上 (426) に互いに対して所定の角度で離隔配置されており、前記所定領域が、前記調理チャンバ (12) の少なくとも 1 つの角部 (444a ~ 444d) を含んでいる、前記上側部分 (416) と、

前記上側部分 (416) に結合されていると共に前記調理媒体を複数の前記噴霧噴射ノズル (424a ~ 424g) の内部に導く、カバー (418) と、

を具備する前記洗浄要素と、

を備えており、

前記カバーが、少なくとも 1 つの固定具によって前記洗浄要素の前記上側部分に取り外し可能に結合されている、フライヤ。

【請求項 2】

前記所定領域が、前記調理チャンバの前記角部それぞれを含んでおり、前記底壁に沿って複数の前記側壁のうち少なくとも 1 つの端壁に向かっており、前記角部が、前記底壁と前記底壁に隣接する複数の前記側壁との接合部に沿って形成されている、請求項 1 に記載のフライヤ。

【請求項 3】

複数の前記側壁が、第１の側壁及び第２の側壁と第１の短壁及び第２の端壁とを含んでおり、

前記洗浄要素が、前記調理チャンバの前記第１の側壁と前記第２の側壁とから等距離で配置されている、請求項１又は２に記載のフライヤ。

【請求項４】

複数の前記噴霧噴射ノズルそれぞれが、

前記通路に流通可能に結合されている噴霧チャンネル入口と、

前記噴霧チャンネル入口に流通可能に結合されており、且つ、前記調理媒体の対応する加圧流を前記洗浄要素から排出させるように構成されている、噴霧チャンネル出口と、  
を備えており、

複数の前記噴霧噴射ノズルのうち少なくとも１つの噴霧噴射ノズルについて、前記噴霧チャンネル出口のサイズが、前記噴霧チャンネル入口のサイズより大きく、これにより広範囲に亘る噴霧パターンが形成されている、請求項１～３のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項５】

複数の前記側壁が、第１の端壁及び第２の端壁を含んでおり、

第１の端壁に向かって方向づけられた噴霧噴射ノズルが、複数の前記噴霧噴射ノズルのうち最も小さい噴霧チャンネル出口を有している、請求項１～４のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項６】

複数の前記側壁が、第１の端壁及び第２の端壁を含んでおり、

前記第１の端壁に向かって方向づけられた噴霧噴射ノズルの数量が、前記第２の端壁に向かって方向づけられた噴霧噴射ノズルの数量と異なる、請求項１～５のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項７】

複数の前記噴霧噴射ノズルのうち少なくとも２つの噴霧噴射ノズルが、前記第１の端壁に向かって方向づけられており、複数の前記噴霧噴射ノズルのうち少なくとも５つの噴霧噴射ノズルが、前記第２の端壁に向かって方向づけられており、

前記第１の端壁が、前記第２の端壁より前記洗浄要素に近接して配設されている、請求項６に記載のフライヤ。

【請求項８】

複数の前記噴霧噴射ノズルが、第１の噴霧チャンネル出口を具備する第１の噴霧噴射ノズルと、第２の噴霧チャンネル出口を具備する第２の噴霧噴射ノズルと、を少なくとも含んでおり、

前記第１の噴霧チャンネル出口と前記第２の噴霧チャンネル出口との両方が、前記第１の端壁又は前記第２の端壁に向かって方向づけられており、

前記第１の噴霧チャンネル出口のサイズが、前記第２の噴霧チャンネル出口のサイズより大きい、請求項５～７のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項９】

複数の前記噴霧噴射ノズルが、第１の噴霧チャンネル出口を具備する第１の噴霧噴射ノズルと、第２の噴霧チャンネル出口を具備する第２の噴霧噴射ノズルと、第３の噴霧チャンネル出口を具備する第３の噴霧噴射ノズルと、を少なくとも含んでおり、

前記第１の噴霧チャンネル出口及び第２の噴霧チャンネル出口が、前記調理チャンバの角部に向かって方向づけられており、前記角部が、前記底壁と前記底壁に隣接する複数の前記側壁との接合部に沿って形成されており、

前記第３の噴霧チャンネル出口のサイズが、前記第１の噴霧チャンネル出口又は第２の噴霧チャンネル出口のサイズより大きく、前記第３の噴霧チャンネル出口が、前記底壁に沿って複数の前記側壁のうち少なくとも第１の端壁又は第２の端壁に向かって方向づけられている、請求項１～８のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項１０】

前記洗浄要素の前記上側部分が、円状の断面を有しており、

複数の前記噴霧噴射ノズルのうちの噴霧噴射ノズルが、前記円状の断面の周によって形成された120度より大きい角度の円弧を具備する噴霧チャネル出口を有している、請求項1～9のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項11】

前記フライヤが、

前記調理チャンバの前記内部空間に配設されており、且つ、蛇行して配置された電熱コイルを含んでいる、電熱要素であって、前記電熱コイルが、上面と下面とを含んでいる、前記電熱要素と、

前記電熱コイルの前記上面に結合されており、且つ、前記電熱コイルを蛇行して配置された状態に維持する、スプレッドバーと、

を備えており、

前記スプレッドバーが位置決めされることによって、前記電熱コイルが前記底壁から所定距離で離隔され、これによりさらなる間隙が、前記調理媒体から成る複数の前記加圧流が前記調理チャンバの前記底壁と前記電熱コイルの前記下面との間に向かうように、複数の前記噴霧噴射ノズルに形成される、ことを可能にする請求項1～10のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項12】

前記フライヤが、

ドレンポートと、

前記調理チャンバからの前記調理媒体を受容するように構成されているドレンパンと、

前記ドレンパンに取り外し不能に結合されている濾過スクリーンと、

前記ドレンパンを前記フライヤの前記充填ポートに流通可能に結合している濾過ポンプと、

を備えている、請求項1～11のいずれか一項に記載のフライヤ。

【請求項13】

調理チャンバ(12)の底壁(70)に結合されている洗浄要素(44)によってフライヤ(10)を洗浄する方法であって、

洗浄要素(44)によって調理媒体から成る複数の加圧流を前記調理チャンバ(12)の少なくとも1つの角部(444a～444d)を含む所定領域に噴霧する噴霧ステップであって、前記洗浄要素(44)が、複数の噴霧噴射ノズル(424a～424g)を配向するために、前記洗浄要素(44)の上側部分(416)の周上(426)に互いに対して所定の角度で離隔配置されている複数の前記噴霧噴射ノズル(424a～424g)を備えており、前記少なくとも1つの角部が、前記底壁(70)と前記底壁(70)に隣接する複数の側壁(62, 64, 66, 68)との接合部に沿って形成されており、少なくとも1つの固定具によって前記上側部分(416)に取り外し可能に結合されているカバー(418)が、前記調理媒体を複数の前記噴霧噴射ノズル(424a～424g)の内部に向かって方向づけるために利用される、前記噴霧ステップを備えている、方法。

【請求項14】

前記方法が、スプレッドバーを電熱要素の電熱コイルの上面に結合するステップであって、これにより前記洗浄要素の効果を最大化するように、前記電熱コイルの下面が、前記底壁から所定距離で離隔した状態で維持され、前記スプレッドバーが、前記電熱コイルを蛇行した状態に維持する、前記ステップを備えている、請求項13に記載の方法。